2020年度トピックス：コロナによる影響/変化

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

コロナによる影響/変化　まとめ

1年以内飼育開始者（新規飼育者）の飼育頭数は19年と比べて増加し、増加率もそれ以前の年に比べて大きい。ペットショップでの購入が1年以内飼育開始者で例年に比べて多いことから、コロナにより外出を控える中、近くのペットショップへ足を運ぶ機会が増え、その結果、購入が伸びたのではないかと推察される。

生活の面でも、コロナ後に特にウェットタイプや半生タイプの食事頻度が増えるなど、在宅時間が増えたことにより食事の面で変化が確認された。
なお、購入店舗において実店舗からインターネットへの大きな移行は見られなかった。

ペットおよび飼育者にとって、コロナ禍での共同生活はおおむねポジティブにとらえられており、ペットから癒しを感じたり、気持ちの面で良い影響を受けている様子。

ペットへの感染についてだけでなく、普段の暮らしや予防、感染後の対応など
ペットとどう暮らしていくかに関心が高いことから
今後、これらについて情報発信をおこなっていきたいところである。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

コロナによる影響/変化：各仮説について

仮説１）コロナにより動物の飼育率が増えている/飼育意向が高まっているか？

全体では、19年から20年で、犬・猫ともに、飼育率は増えておらず、飼育意向率も高まっていない状況。
しかし、新規飼育者の割合は19年から微増、新規飼育者の飼育頭数は19年から増加（増加率も、他の年に比べて大きい）。
※ 1年前（1年以内含む）飼育開始者を新規飼育者と定義

仮説２）コロナにより家にいる時間や買い物の頻度/方法が変わり、フードの種類が変化しているのではないか？

食事頻度の変化は、大半が変わらないが、ウェットタイプや半生タイプの頻度増が一定存在する。
フードタイプは、犬は市販ウェットタイプや市販半生タイプ、猫は市販おやつ用のペットフードの割合が19年より増加。

仮説３）コロナにより家族が家にいる時間が増え、フードをあげる人が変化しているのではないか？

家にいる時間が増えた人は全体の45%。しかし、フードをあげる人に変化は見られなかった。

仮説４）コロナによりペット用品購入ルートが変化（ネット増など）しているのではないか？

「インターネット通販」での購入率は19年から変わらず。店舗での購入率も変わらずで、買い方は大きくは変わらなかった。

仮説５）コロナによりペット環境が変化しているか？

ペットへの影響を感じている人は、全体の23%。ペットへの影響も、ポジティブな影響が上位を占め、ストレスなどのネガティブな影響は低い。しかし、若い人ほどネガティブな影響が高くなっている。
コロナ後にペットと過ごす時間が増えた、ペットの癒しを感じている割合は若い人ほど高くなる傾向にあり、若い人ほどコロナによる変化を感じている様子。良い変化、影響が上位にあがるが、若い人ほどネガティブな面が高くあがっている（＝コロナによるネガティブな影響もあり）。
コロナに感染した場合は、7割近くが不安を感じており、若い人ほど不安を感じている割合が高くなる。
ペットに対する情報として調べたものでは、コロナの感染についてが上位にあがる。今後知りたいものでは、コロナの感染についての他、感染予防や感染時の対応があがる。ペットフードに関しては低い。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

コロナによる影響/変化：各仮説について

仮説６）コロナが理由で非飼育者の飼育意向があがっているか？

19年から20年で、非飼育者の今後飼育意向はあがらず。
現在飼育なし＆今後飼育意向ありの人の「飼育したいと思ったきっかけ」では、コロナが影響していそうな点で動きはみられなかった。

仮説７）コロナが理由で非飼育理由が変化しているのではないか？

非飼育理由は、19年から変わらず。
「ペットを販売または譲渡する場所に行く機会がなかったから」「欲しいペットが見つからなかったから」といった、コロナによる機会ロスはあまり大きくはなかった。
非飼育理由では、「（ペットの）価格が高いから」よりも「世話をするのにお金がかかるから」の方が高く、初期投資費用よりもランニングコストの方が阻害要因としては大きい。

仮説８）コロナによって予防接種や不妊・去勢手術、病院に行く回数が減っているのではないか？

予防接種や不妊・去勢手術を実施した率は、19年から変わらず。動物病院へ行った回数も変化はなし。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

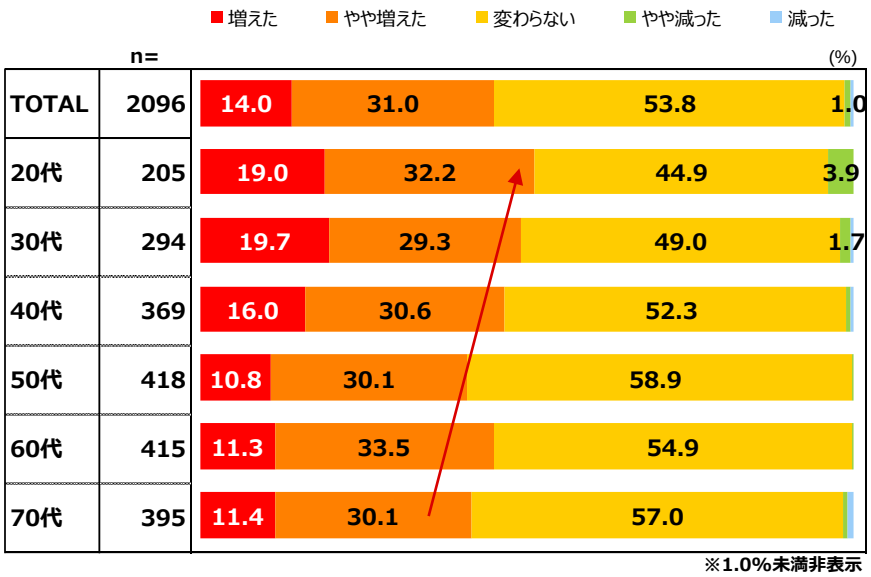
コロナによる生活環境の変化

調査② Q47 Q48

集計ベース：
現在犬または猫飼育者
単位：%

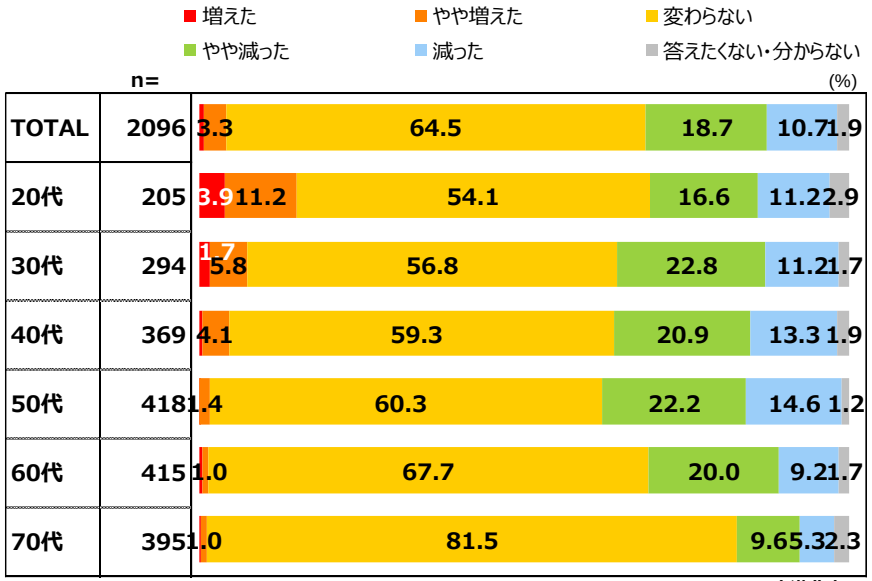
・コロナ後に在宅時間が増えた人の割合は、全体の45%。年齢が若くなるにしたがって、増加傾向に。
・コロナ後に世帯収入が減った人の割合は、全体の約3割。30代～50代で高い。

Q47【コロナ後】在宅時間の変化
BD1_7 ＊年代



※1.0%未満非表示

Q48【コロナ後】世帯収入変化
BD1_7 ＊年代



※1.0%未満非表示

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

犬・猫の飼育率/今後の飼育意向の変化

調査① Q3(1)(3)

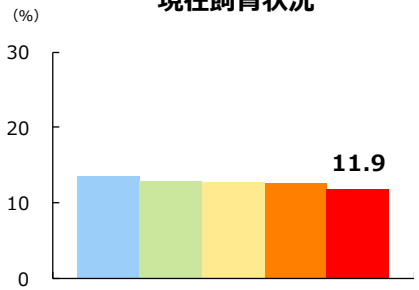
集計ベース：全数
単位：%

各年TOTAL n=50,000

・19年から20年で、犬・猫ともに、飼育率は増えておらず、飼育意向率も高まっていない状況。

犬

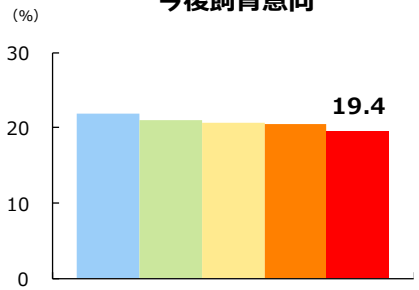
現在飼育状況



	TOTAL
16年	13.6
17年	12.8
18年	12.6
19年	12.5
20年	11.9

犬

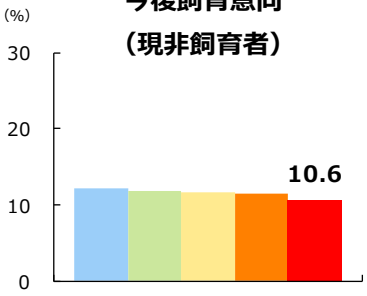
今後飼育意向



	TOTAL
16年	21.8
17年	21.0
18年	20.7
19年	20.5
20年	19.4

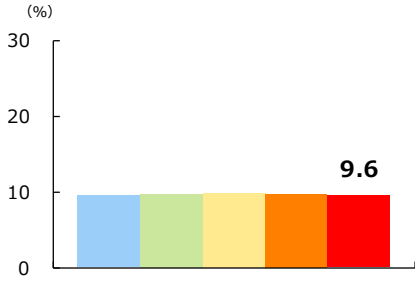
犬

今後飼育意向
（現非飼育者）



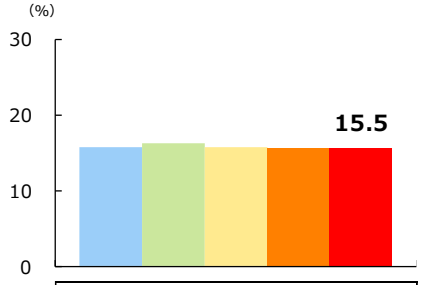
	TOTAL
16年	12.2
17年	11.8
18年	11.7
19年	11.4
20年	10.6

猫



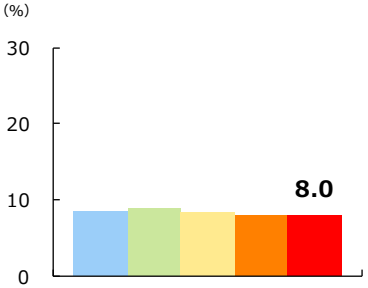
	TOTAL
16年	9.6
17年	9.7
18年	9.8
19年	9.7
20年	9.6

猫



	TOTAL
16年	15.8
17年	16.3
18年	15.8
19年	15.5
20年	15.5

猫



	TOTAL
16年	8.6
17年	8.9
18年	8.3
19年	8.0
20年	8.0

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：■

犬・猫を1年以内に飼い始めた人の割合

調査① Q14(1)(2)

集計ベース：全数
単位：%

・21年以上前に飼い始めた人の割合が、犬・猫ともに19年から低下。
・1年前（1年以内も含む）から飼い始めた人の割合は、19年から微増。

犬

	TOTAL	1年前（1年以内も含む）から飼い始めた	～3年前	～5年前	～7年前	～10年前	～15年前	～20年前	21年以上前	わからない／覚えていない	非飼育
16年	50000	0.71	1.16	1.10	1.29	2.42	2.44	1.02	2.38	1.03	86.44
17年	50000	0.61	1.20	1.05	1.28	2.33	2.27	0.98	2.19	0.93	87.16
18年	50000	0.62	1.01	0.90	1.06	1.93	2.65	1.19	2.34	0.93	87.36
19年	50000	0.62	1.09	1.00	1.02	1.96	2.54	1.17	2.29	0.85	87.45
20年	50000	0.69	1.11	1.01	0.93	1.79	2.39	1.11	2.10	0.71	88.15

猫

	TOTAL	1年前（1年以内も含む）から飼い始めた	～3年前	～5年前	～7年前	～10年前	～15年前	～20年前	21年以上前	わからない／覚えていない	非飼育
16年	50000	0.61	0.97	0.82	0.80	1.24	1.39	0.91	1.86	0.93	90.44
17年	50000	0.63	1.08	0.89	0.83	1.17	1.28	0.88	2.02	0.94	90.29
18年	50000	0.57	1.04	0.83	0.84	1.16	1.38	0.94	2.14	0.89	90.22
19年	50000	0.57	1.05	0.87	0.80	1.17	1.33	0.93	2.14	0.82	90.31
20年	50000	0.67	1.08	0.93	0.81	1.21	1.35	0.87	1.96	0.73	90.40

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：■

犬・猫の年齢：0歳の割合変化

調査①　SSQ10

集計ベース：全数
単位：%

調査①　SSQ12

集計ベース：全数
単位：%

・犬・猫ともに、0歳の割合は19年から微増。

犬

	n=	0歳	1歳	2歳以上	わからない	飼っていない
16年	50000	0.036	0.095	1.479	0.026	98.4
17年	50000	0.027	0.084	1.419	0.022	98.4
18年	50000	0.030	0.107	1.367	0.023	98.5
19年	50000	0.031	0.101	1.324	0.024	98.5
20年	50000	0.039	0.111	1.230	0.022	98.6

猫

	n=	0歳	1歳	2歳以上	わからない	飼っていない
16年	50000	0.0657	0.1445	1.3207	0.0408	98.4
17年	50000	0.0605	0.1441	1.3714	0.0396	98.4
18年	50000	0.0588	0.1485	1.3404	0.0452	98.4
19年	50000	0.0564	0.1514	1.3413	0.0613	98.4
20年	50000	0.0581	0.1510	1.2842	0.0553	98.5

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：■

再掲

調査① Q3,Q4

集計ベース：
現在犬または猫飼育者

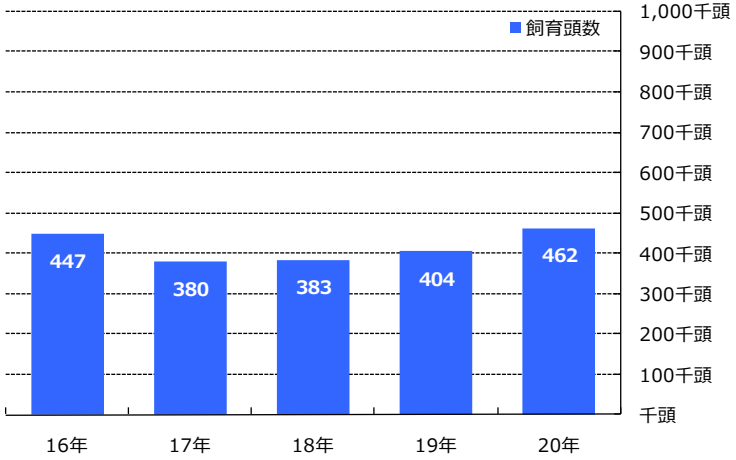
犬猫　現在飼育率、平均飼育頭数、飼育頭数（拡大推計）

1年前（1年以内も含む）から飼い始めた人を新規者とみなし、新規者と既存者（1年以上前から飼い始めた人）とわけて飼育頭数の動きを確認した

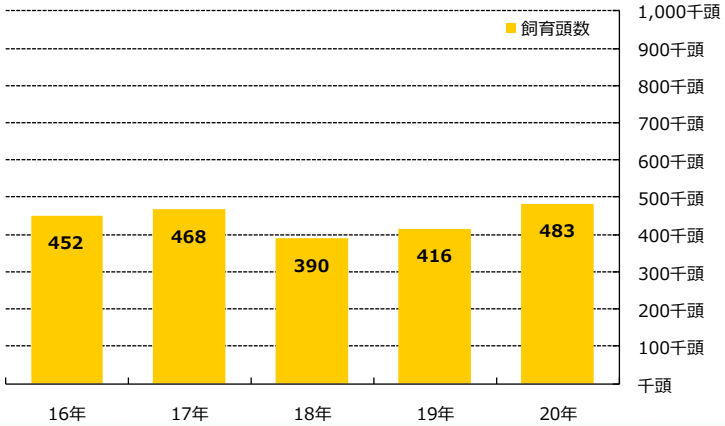
・19年から20年で、新規者の飼育頭数は増加。

新規飼育者

犬	世帯数（※1）		飼育率	新規者率		飼育世帯		平均飼育頭数		飼育頭数	UP率
20年	57,380,526	×	11.85%	5.81%	=	395千世帯	×	1.17	=	**462千頭**	114%
19年	56,996,515	×	12.55%	4.96%	=	354千世帯	×	1.14	=	**404千頭**	106%
18年	56,613,999	×	12.64%	4.92%	=	352千世帯	×	1.09	=	**383千頭**	101%
17年	56,221,568	×	12.84%	4.72%	=	340千世帯	×	1.12	=	**380千頭**	85%
16年	55,811,969	×	13.56%	5.27%	=	399千世帯	×	1.12	=	**447千頭**	-



猫	世帯数（※1）		飼育率	新規者率		飼育世帯		平均飼育頭数		飼育頭数	UP率
20年	57,380,526	×	9.60%	6.94%	=	382千世帯	×	1.27	=	**483千頭**	116%
19年	56,996,515	×	9.69%	5.90%	=	326千世帯	×	1.28	=	**416千頭**	107%
18年	56,613,999	×	9.78%	5.78%	=	320千世帯	×	1.22	=	**390千頭**	83%
17年	56,221,568	×	9.71%	6.44%	=	351千世帯	×	1.33	=	**468千頭**	103%
16年	55,811,969	×	9.56%	6.43%	=	343千世帯	×	1.32	=	**452千頭**	-



統計データ
調査データ
統計、調査データから算出

※1・・・世帯数は、総務省発表「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数より。
施設など一般世帯以外も含む。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

犬猫　現在飼育率、平均飼育頭数、飼育頭数（拡大推計）

調査①　Q3,Q4

集計ベース：
現在犬または猫飼育者

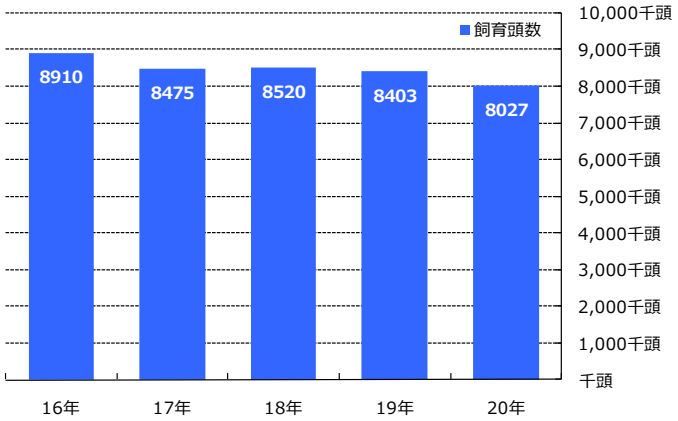
1年前（1年以内も含む）から飼い始めた人を新規者とみなし、新規者と既存者（1年以上前から飼い始めた人）とわけて飼育頭数の動きを確認した

・19年から20年で、既存者の飼育頭数は減少。

既存飼育者

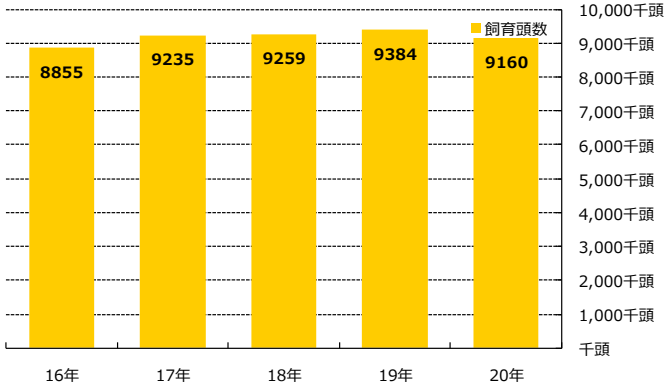
犬

	世帯数（※1）		飼育率	既存者率		飼育世帯		平均飼育頭数		飼育頭数	UP率
20年	57,380,526	×	11.85%	94.19%	=	6,405千世帯	×	1.25	=	**8,027千頭**	96%
19年	56,996,515	×	12.55%	95.04%	=	6,798千世帯	×	1.24	=	**8,403千頭**	99%
18年	56,613,999	×	12.64%	95.08%	=	6,802千世帯	×	1.25	=	**8,520千頭**	101%
17年	56,221,568	×	12.84%	95.28%	=	6,877千世帯	×	1.23	=	**8,475千頭**	95%
16年	55,811,969	×	13.56%	94.73%	=	7,171千世帯	×	1.24	=	**8,910千頭**	-



猫

	世帯数（※1）		飼育率	既存者率		飼育世帯		平均飼育頭数		飼育頭数	UP率
20年	57,380,526	×	9.60%	93.06%	=	5,125千世帯	×	1.79	=	**9,160千頭**	98%
19年	56,996,515	×	9.69%	94.10%	=	5,198千世帯	×	1.81	=	**9,384千頭**	101%
18年	56,613,999	×	9.78%	94.22%	=	5,218千世帯	×	1.77	=	**9,259千頭**	100%
17年	56,221,568	×	9.71%	93.56%	=	5,108千世帯	×	1.81	=	**9,235千頭**	104%
16年	55,811,969	×	9.56%	93.57%	=	4,991千世帯	×	1.77	=	**8,855千頭**	-



統計データ
調査データ
統計、調査データから算出

※1・・・世帯数は、総務省発表「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数より。
施設など一般世帯以外も含む。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

犬　飼育のきっかけ：1年以内に飼い始めた人ベース

調査②　Q35（1）

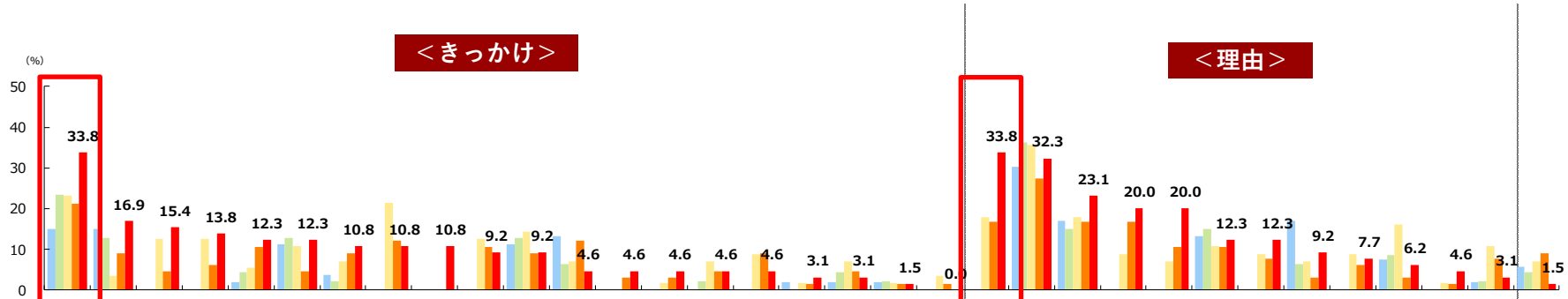
集計ベース：
現在犬飼育者　1年前から飼い始めた人
単位：%

・1年以内に飼い始めた人で飼育のきっかけ、理由を時系列でみると、傾向は変わらない中で、「ペットショップで見て欲しくなったから」「過去飼育しており、また飼いたくなった」の割合が例年よりもさらに高くなっている。

※各小見出しごとに
20年で降順ソート

Q35 ペットの飼育きっかけ(MA)【ベース：現在犬猫各飼育者】：犬 [Q35(1)]

犬



	n=	ペットショップで見て欲しくなったから	以前飼っていたペットが亡くなったから	子供が世話できる年齢になったから	年齢的に飼い始める最後のチャンスだから	経済的に余裕ができたから	子供に手がかからなくなったから	一軒家に引っ越したから	毎日ペットの世話をできる状況になったから	家族のうちの誰かが家にいる時間が増えたから	ペットを飼うにふさわしい環境の住宅に引っ越したから	子供・孫にせがまれたから	ペット不可でない住宅に引っ越したから	ペット飼育に反対する家族と別居することになったから	子供・孫以外の家族にせがまれたから	テレビ、雑誌、インターネット等で見て気に入ったから	友人／知人などから飼育を頼まれた、もらったから	ペットアレルギーの症状がある家族と別居することになったから	周りの人が飼っているのを見て羨ましいと思ったから	子供が独立したから	ペットを拾った、迷い込んできたから	過去に飼育経験があり、また飼いたくなったから	生活に癒し・安らぎが欲しかったから	家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから	生活を充実させたいから	愛情をかけて世話をする対象が欲しかったから	話し相手や遊び相手として欲しかったから	ペットを飼っている家庭にあこがれていたから	子供に世話をさせたいと考えたから	ストレス解消、気分転換、リフレッシュしたいから	運動不足を解消したいから	ひとり暮らしでさみしかったから	子供が一人の為、話し相手や遊び相手として欲しかったから	その他
16年	53	15.1	15.1	0.0	0.0	1.9	11.3	3.8	0.0	-	0.0	11.3	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	30.2	17.0	0.0	0.0	13.2	0.0	17.0	0.0	7.5	0.0	1.9	5.7
17年	47	23.4	12.8	0.0	0.0	4.3	12.8	2.1	0.0	-	0.0	12.8	6.4	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	4.3	2.1	0.0	0.0	36.2	14.9	0.0	0.0	14.9	0.0	6.4	0.0	8.5	0.0	2.1	4.3
18年	56	23.2	3.6	12.5	12.5	5.4	10.7	7.1	21.4	-	12.5	14.3	7.1	0.0	1.8	7.1	8.9	1.8	7.1	1.8	3.6	17.9	35.7	17.9	8.9	7.1	10.7	8.9	7.1	8.9	16.1	1.8	10.7	7.1
19年	66	21.2	9.1	4.5	6.1	10.6	4.5	9.1	12.1	-	10.6	9.1	12.1	3.0	3.0	4.5	9.1	1.5	4.5	1.5	1.5	16.7	27.3	16.7	16.7	10.6	10.6	7.6	3.0	6.1	3.0	1.5	7.6	9.1
20年	65	33.8	16.9	15.4	13.8	12.3	12.3	10.8	10.8	10.8	9.2	9.2	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	3.1	3.1	1.5	0.0	33.8	32.3	23.1	20.0	20.0	12.3	12.3	9.2	7.7	6.2	4.6	3.1	1.5

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■

猫　飼育のきっかけ：1年以内に飼い始めた人ベース

調査②　Q35（2）

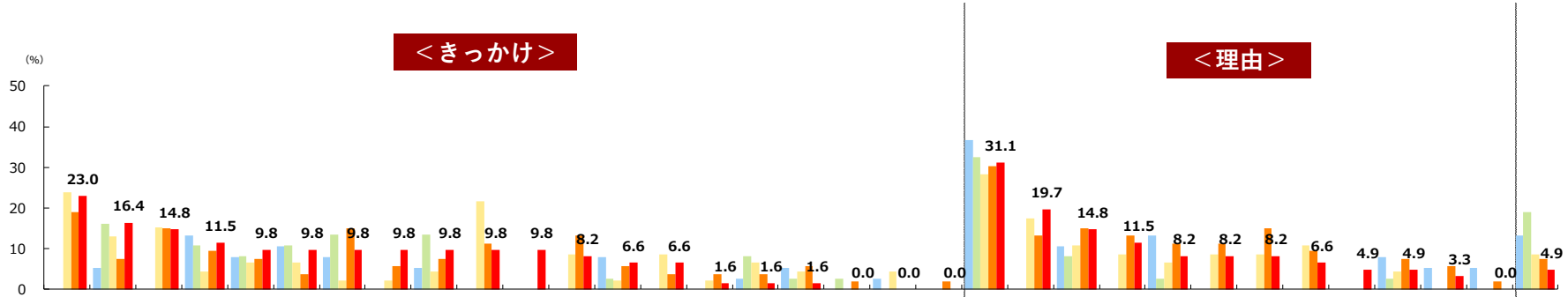
集計ベース：
現在猫飼育者※外猫除く　1年前から飼い始めた人
単位：%

・1年以内に飼い始めた人で飼育のきっかけを時系列でみると、コロナに関連する項目で変化はみられない。

※各小見出しごとに
20年で降順ソート

Q35 ペットの飼育きっかけ(MA)【ベース：現在犬猫各飼育者】：猫※外猫（野良猫、地域猫）は除く[Q35(2)]

猫



	n=	ペットを拾った、迷い込んできたから	ペットショップで見て欲しくなったから	友人／知人などから飼育を頼まれた、もらったから	以前飼っていたペットが亡くなったから	経済的に余裕ができたから	ペット不可でない住宅に引っ越したから	子供・孫にせがまれたから	子供が世話できる年齢になったから	子供に手がかからなくなったから	毎日ペットの世話をできる状況になったから	-	家族のうちの誰かが家にいる時間が増えたから	ペットを飼うにふさわしい環境（広さ・間取り・庭や住宅環境）の住宅に引っ越したから	一軒家に引っ越したから	年齢的に飼い始める最後のチャンスだから	子供・孫以外の家族にせがまれたから	周りの人が飼っているのを見て羨ましいと思ったから	テレビ、雑誌、インターネット等で見て気に入ったから	ペット飼育に反対する家族と別居することになったから	ペットアレルギーの症状がある家族と別居することになったから	子供が独立したから	生活に癒し・安らぎが欲しかったから	過去に飼育経験があり、また飼いたくなったから	家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから	生活を充実させたいから	話し相手や遊び相手として欲しかったから	ストレス解消、気分転換、リフレッシュしたいから	愛情をかけて世話をする対象が欲しかったから	ペットを飼っている家庭にあこがれていたから	ひとり暮らしでさみしかったから	子供に世話をさせたいと考えたから	子供が一人の為、話し相手や遊び相手として欲しかったから	運動不足を解消したいから	その他
16年	38	0.0	5.3	0.0	13.2	7.9	10.5	7.9	0.0	5.3	0.0	-	0.0	7.9	0.0	0.0	2.6	5.3	0.0	2.6	0.0	36.8	0.0	10.5	0.0	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	5.3	5.3	13.2
17年	37	0.0	16.2	0.0	10.8	8.1	10.8	13.5	0.0	13.5	0.0	-	0.0	2.7	0.0	0.0	8.1	2.7	2.7	0.0	0.0	32.4	0.0	8.1	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	18.9
18年	46	23.9	13.0	15.2	4.3	6.5	6.5	2.2	2.2	4.3	21.7	-	8.7	2.2	8.7	2.2	6.5	4.3	0.0	4.3	0.0	28.3	17.4	10.9	8.7	6.5	8.7	8.7	10.9	0.0	4.3	0.0	0.0	8.7
19年	53	18.9	7.5	15.1	9.4	7.5	3.8	15.1	5.7	7.5	11.3	-	13.2	5.7	3.8	3.8	3.8	5.7	1.9	0.0	1.9	30.2	13.2	15.1	13.2	11.3	11.3	15.1	9.4	0.0	7.5	5.7	1.9	7.5
20年	61	23.0	16.4	14.8	11.5	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	8.2	6.6	6.6	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	31.1	19.7	14.8	11.5	8.2	8.2	8.2	6.6	4.9	4.9	3.3	0.0	4.9

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■

犬・猫　飼い始めの時期別　入手先

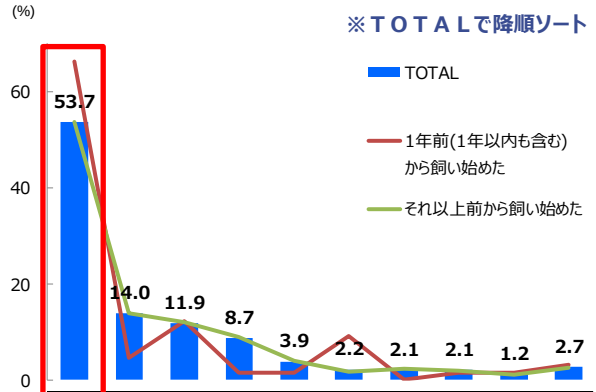
調査②　Q27(1)(2)

集計ベース：
現在犬または猫飼育者※外猫除く
単位：%

・1年以内に飼い始めた人で、「ペットショップ」で購入した割合がそれ以上前から飼い始めた人に比べて高い。

Q27 ペットの入手先(MA)【ベース：現在犬猫各飼育者】：犬 [Q27(1)]
＊QS14　自宅で犬猫を飼い始めた時期【ベース：犬猫各飼育者】：お宅で犬を飼育し始めた時期 [TQS14

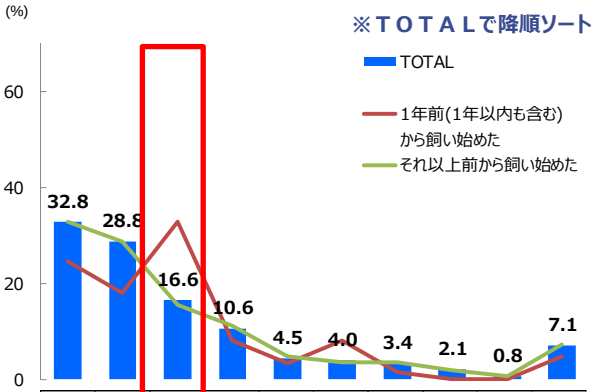
犬



	n=	ペットショップで購入	友人／知人からもらった	業者のブリーダーから直接購入	友人／知人のブリーダーから直接購入	里親探しのマッチングサイトからの譲渡	シェルターからの譲渡	インターネットを通じて直接購入	野良犬を拾った	飼育している犬が産んだ	その他
TOTAL	1127	53.7	14.0	11.9	8.7	3.9	2.2	2.1	2.1	1.2	2.7
1年前(1年以内も含む)から飼い始めた	65	66.2	4.6	12.3	1.5	1.5	9.2	0.0	1.5	1.5	3.1
それ以上前から飼い始めた	1020	53.7	13.9	12.0	9.0	4.1	1.8	2.4	1.9	1.1	2.6
わからない／覚えていない	42	33.3	31.0	9.5	11.9	2.4	2.4	0.0	9.5	2.4	2.4

Q27 ペットの入手先(MA)【ベース：現在犬猫各飼育者】：猫※外猫（野良猫、地域猫）は除く [Q27(2)
＊QS14　自宅で犬猫を飼い始めた時期【ベース：犬猫各飼育者】：お宅で猫を飼育し始めた時期 [TQS14

猫



	n=	野良猫を拾った	友人／知人からもらった	ペットショップで購入	里親探しのマッチングサイトからの譲渡	シェルターからの譲渡	業者のブリーダーから直接購入	友人／知人のブリーダーから直接購入	飼育している猫が産んだ	インターネットを通じて直接購入	その他
TOTAL	858	32.8	28.8	16.6	10.6	4.5	4.0	3.4	2.1	0.8	7.1
1年前(1年以内も含む)から飼い始めた	61	24.6	18.0	32.8	8.2	3.3	8.2	1.6	0.0	0.0	4.9
それ以上前から飼い始めた	749	32.8	28.7	15.6	11.3	4.8	3.6	3.6	2.0	0.8	7.3
わからない／覚えていない	48	41.7	43.8	10.4	2.1	2.1	4.2	2.1	6.3	2.1	6.3

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

市販ペットフードサブカテゴリー別利用率の変化

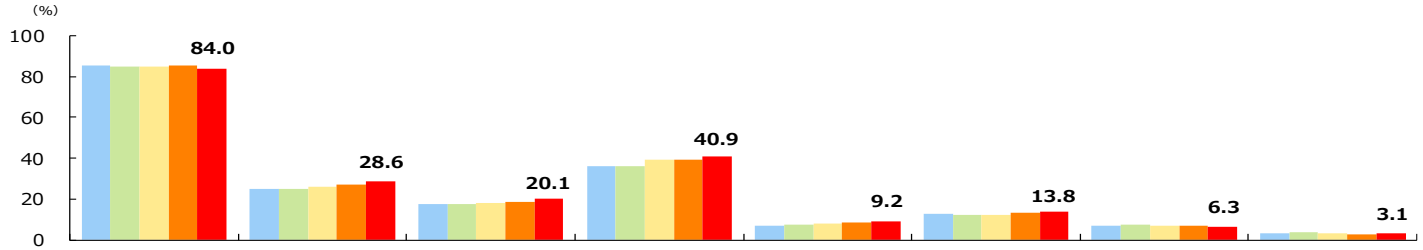
調査①　Q5(1)(2)

集計ベース：
現在犬または猫飼育者※外猫除く
単位：%

・19年に比べて、犬は「市販ウェットタイプ」「市販半生タイプ」、猫は「市販おやつ」が増加。

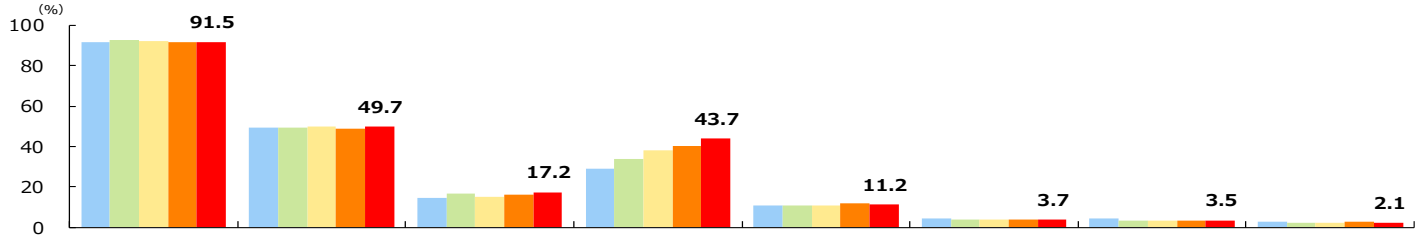
現在飼育・世話ペット　給餌フードタイプ(MA)

犬



	n=	市販のドライタイプ　<カリカリの粒>のペットフード	市販のウェットタイプ<缶・レトルト・トレイ入り>のペットフード	市販の半生タイプのペットフード	市販のおやつ用のペットフード	ペット用療法食	手作りのペット用食事	人間の食事の残り	その他
16年	6781	85.1	24.7	17.8	36.1	6.9	12.7	7.2	3.3
17年	6419	84.7	25.1	17.5	36.3	7.3	12.5	7.3	3.5
18年	6319	84.7	26.2	18.2	39.0	7.8	12.4	7.0	3.1
19年	6274	85.1	26.9	18.5	39.2	8.4	13.2	6.7	2.8
20年	5925	84.0	28.6	20.1	40.9	9.2	13.8	6.3	3.1

猫



	n=	市販のドライタイプ　<カリカリの粒>のペットフード	市販のウェットタイプ<缶・レトルト・トレイ入り>のペットフード	市販の半生タイプのペットフード	市販のおやつ用のペットフード	ペット用療法食	手作りのペット用食事	人間の食事の残り	その他
16年	4779	91.8	49.3	14.6	28.7	10.6	4.3	4.5	2.8
17年	4855	92.5	49.1	16.4	33.7	10.6	3.6	3.5	2.4
18年	4892	92.2	49.6	15.0	38.2	10.7	4.0	3.3	2.2
19年	4846	91.8	49.0	16.2	40.2	11.7	3.8	3.1	2.5
20年	4798	91.5	49.7	17.2	43.7	11.2	3.7	3.5	2.1

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：■

食事頻度の変化

調査②　Q45

集計ベース：
現在犬飼育者
単位：%

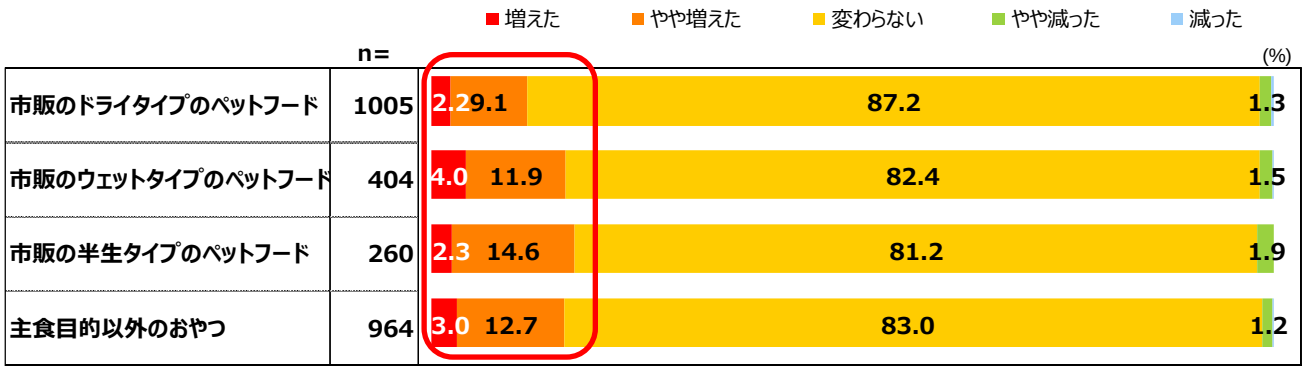
調査②　Q46

集計ベース：
現在猫飼育者
単位：%

コロナ後の食事頻度は、「変わらない」が8割前後と高いが、減った割合よりも増えた割合の方が高い。ドライタイプよりもその他のタイプでより増えている。

犬

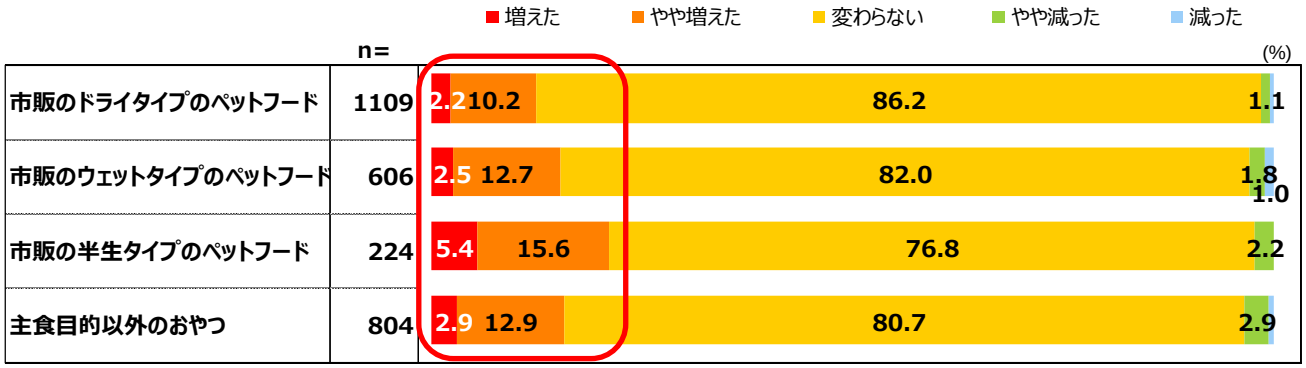
Q45【コロナ後】犬食事頻度変化【ベース：犬飼育者 各フード使用者】



※1.0%未満非表示

猫

Q46【コロナ後】猫食事頻度変化【ベース：猫、外猫飼育者　各フード使用者】



※1.0%未満非表示

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

フード・おやつをあげる人の変化

調査① Q6（3）

集計ベース：
現在犬または猫飼育者※外猫除く
単位：%

ペットにフード・おやつをあげる人は、例年と変わらない。

現在飼育ペット 市販ペットフード給餌者

（ペットに食事やおやつをあげる）

■主に自分が行う ■自分と家族が同じくらいの頻度で行う ■主に家族が行う

(%)

	n=	主に自分が行う	自分と家族が同じくらいの頻度で行う	主に家族が行う
16年	10638	44.3	29.4	26.3
17年	10371	45.2	29.4	25.4
18年	10333	45.0	29.9	25.2
19年	10180	46.0	29.4	24.5
20年	9844	46.2	30.3	23.5

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5% 20年の値が19年に対し有意に高い/低い：青で丸付け
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：黄色で丸付け

購入ルートの変化

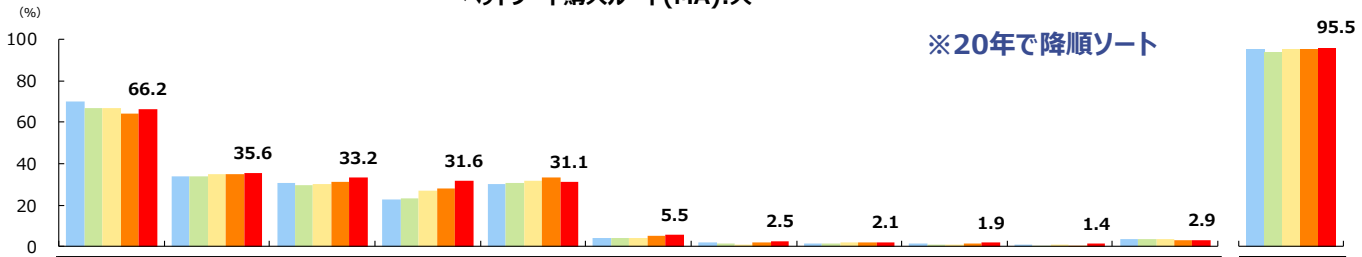
調査② UQ14

集計ベース：
犬または外猫のみ飼育者除く猫飼育者
＆ペットフード・市販ペット用品使用者
単位：%

・19年と比べて、「インターネット通販」「店舗計」の割合は変わらない。

犬

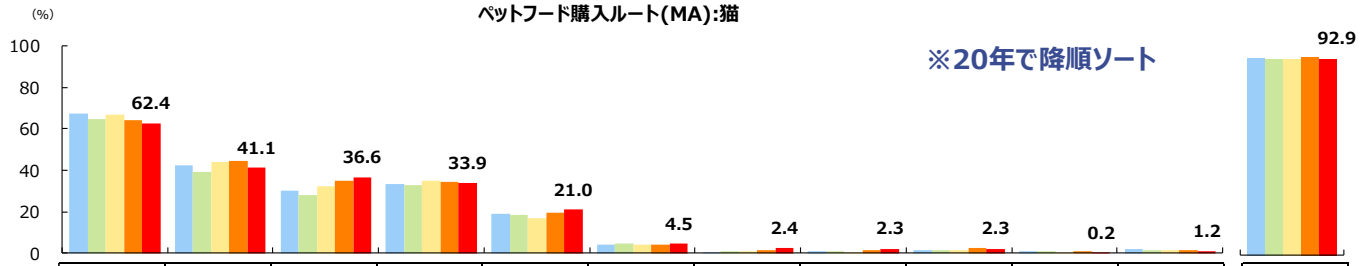
ペットフード購入ルート(MA):犬



	n=	ホームセンター・ディスカウントストア	インターネット通販	ペットショップ	ドラッグストア	スーパー	獣医／動物病院	ブリーダー	インターネット以外の通販	コンビニエンスストア	ガーデンセンター・園芸ショップ	その他	※店舗計
16年	1014	70.2	33.8	30.9	22.8	30.4	4.3	2.0	1.3	1.4	1.0	3.6	95.1
17年	1039	66.8	33.9	29.4	23.2	30.9	4.2	1.3	1.3	0.9	0.6	3.6	93.6
18年	1093	66.5	34.9	30.1	27.2	31.9	4.0	0.8	2.0	1.2	0.8	3.4	94.6
19年	1077	64.1	34.8	31.2	27.9	33.1	5.0	1.9	2.0	1.3	0.6	2.9	94.6
20年	1127	66.2	35.6	33.2	31.6	31.1	5.5	2.5	2.1	1.9	1.4	2.9	95.5

猫

ペットフード購入ルート(MA):猫



	n=	ホームセンター・ディスカウントストア	スーパー	ドラッグストア	インターネット通販	ペットショップ	獣医／動物病院	インターネット以外の通販	ブリーダー	コンビニエンスストア	ガーデンセンター・園芸ショップ	その他	※店舗計
16年	712	67.3	42.3	30.1	33.3	19.0	4.1	0.6	1.1	1.7	0.8	2.0	93.5
17年	720	64.7	39.4	28.3	32.9	18.3	4.6	1.1	1.0	1.5	1.0	1.7	93.1
18年	779	66.6	44.0	32.3	34.9	16.7	4.2	0.9	0.4	1.7	0.6	1.7	93.1
19年	757	63.9	44.6	35.0	34.5	19.7	4.2	1.6	1.6	2.5	0.9	1.6	93.8
20年	858	62.4	41.1	36.6	33.9	21.0	4.5	2.4	2.3	2.3	0.2	1.2	92.9

※店舗計は、「ホームセンター・ディスカウントストア」「スーパー」「ドラッグストア」「ペットショップ」の計

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：■

ペット環境の変化

調査②　Q36　Q38

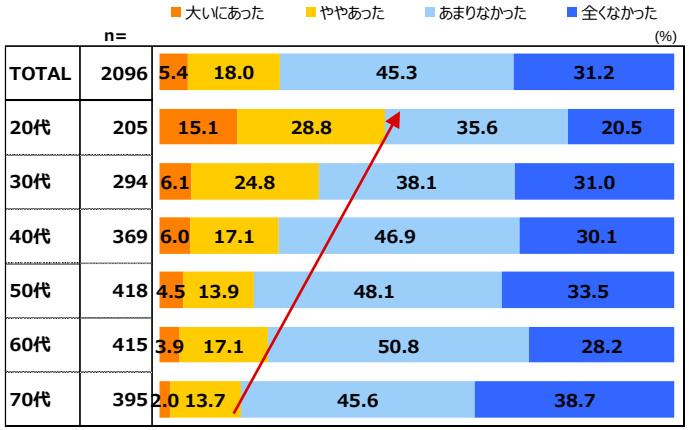
集計ベース：現在犬または猫飼育者
単位：%

調査②　Q37

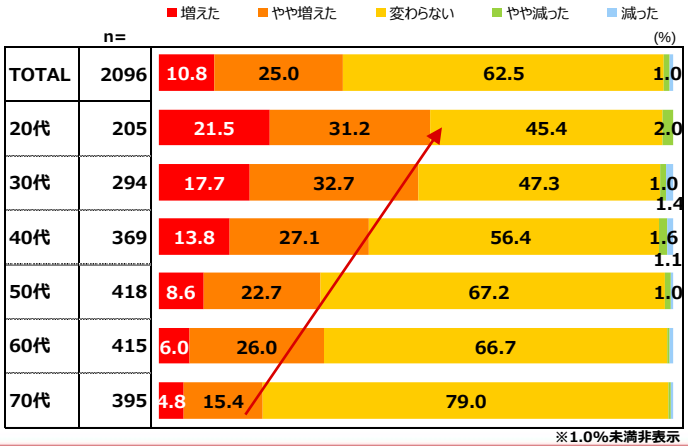
集計ベース：
コロナ後、ペットへの影響がある
単位：%

・コロナ後にペットへの影響を感じている人は、23.4%。ポジティブな影響が上位に挙がるが、若くなるにしたがって、ネガティブな影響が大きくなる傾向に。

Q36【コロナ後】ペットへの影響有無
BD1_7 ＊年代



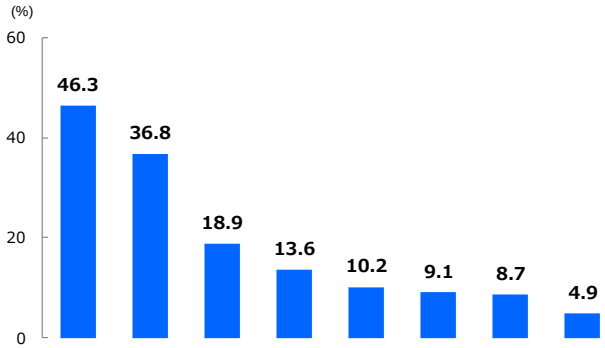
Q38【コロナ後】ペットと過ごす時間の変化
BD1_7 ＊年代



※1.0%未満非表示

※ＴＯＴＡＬで降順ソート

Q37【コロナ後】ペットへの影響（MA)【ベース：ペットへの影響あり】
BD1_7 ＊年代



	n=	家族と過ごす時間が増えて幸せそうだった	甘えて寄り添って来る頻度が増えた	ストレスを感じているようにみえた	睡眠リズムが変わった	人と距離を取るようになった	普段と違う行動を取り始めた	体調を崩した	その他
TOTAL	492	46.3	36.8	18.9	13.6	10.2	9.1	8.7	4.9
20代	90	32.2	24.4	18.9	16.7	13.3	18.9	21.1	0.0
30代	91	48.4	38.5	19.8	12.1	13.2	9.9	7.7	2.2
40代	85	47.1	48.2	25.9	20.0	8.2	8.2	8.2	2.4
50代	77	55.8	29.9	18.2	11.7	9.1	9.1	5.2	11.7
60代	87	54.0	41.4	18.4	6.9	5.7	3.4	2.3	6.9
70代	62	40.3	38.7	9.7	14.5	11.3	3.2	6.5	8.1

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

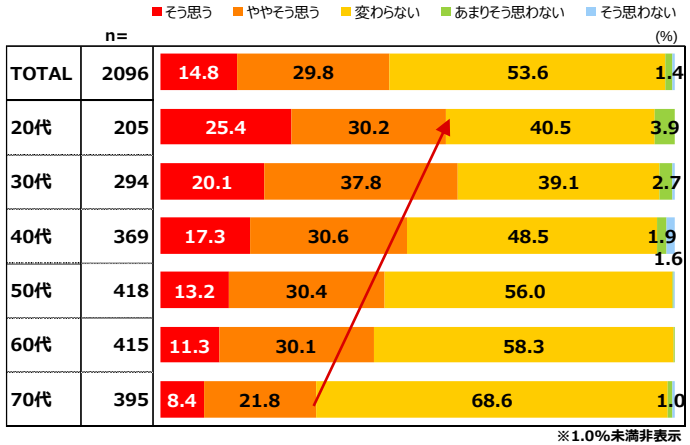
ペットに対しての意識の変化

調査② Q39 Q40 Q41

集計ベース：現在犬または猫飼育者
単位：%

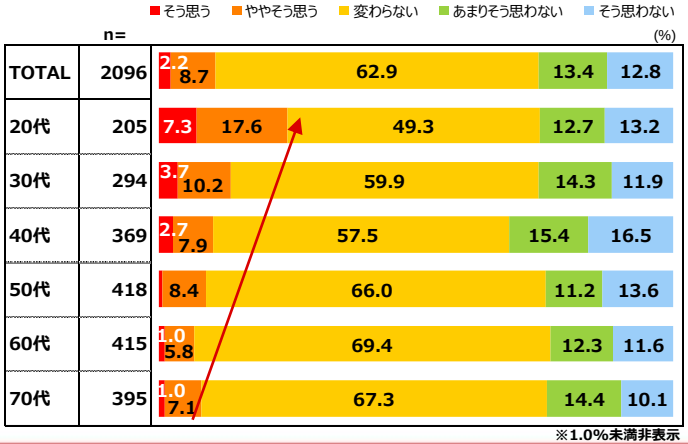
・コロナ後にペットの癒しを感じている割合も世話の大変さを感じる割合も、若年層の方が増えている。ペットに対する意識の変化では、ごく一部ながらネガティブに感じる割合が若年層の方が大きくなる傾向に。

Q39【コロナ後】ペットの癒し
BD1_7 ＊年代



※1.0%未満非表示

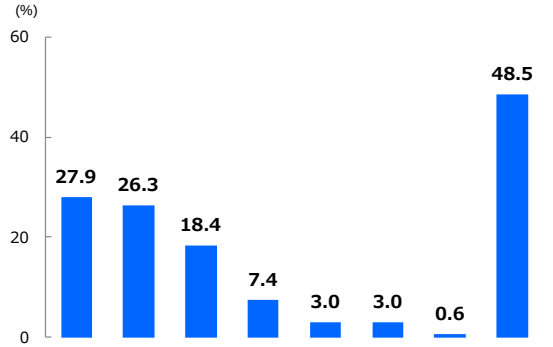
Q40【コロナ後】ペットの世話の大変さ
BD1_7 ＊年代



※1.0%未満非表示

Q41【コロナ後】ペットに対する意識変化（MA）
BD1_7 ＊年代

※ＴＯＴＡＬで降順ソート



	n=	コロナ禍でペットがいてくれて良かったと思う	ペットとの共有時間が増えて幸せを感じる	以前より愛着が湧くようになった	ペットを他人に撫でられたくないと感じる	ペットとの距離が近くなり逆に面倒に感じる	ペットに対してストレスを感じてしまう	その他	以前とあまり変わらない
TOTAL	2096	27.9	26.3	18.4	7.4	3.0	3.0	0.6	48.5
20代	205	25.4	37.6	21.5	9.3	6.8	8.3	0.5	33.7
30代	294	31.3	32.7	22.1	10.5	5.4	4.1	0.7	38.1
40代	369	34.1	32.5	22.0	8.4	3.3	2.4	1.1	42.0
50代	418	28.9	25.1	14.6	7.4	2.4	2.9	0.0	52.2
60代	415	24.3	20.2	18.8	4.6	1.2	1.4	1.0	54.2
70代	395	23.5	17.7	14.2	6.1	1.5	1.5	0.3	60.0

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

ペットに関するインターネットでの情報検索

調査②　Q43

集計ベース：情報検索者
単位：%

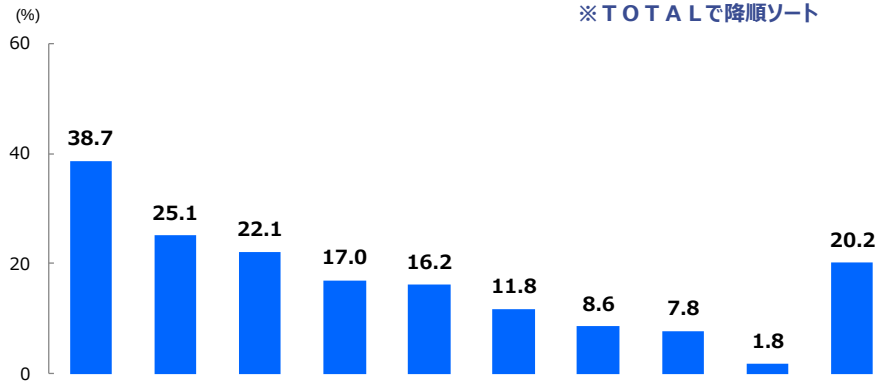
調査②　Q44

集計ベース：現在犬または猫飼育者
単位：%

・コロナに感染した場合、ペットの世話に関する不安を抱いている人は、68%。
若くなるにしたがって高くなる傾向に。

Q43【コロナ後】ペットに関する情報検索サイト（MA)【ベース：情報検索者】
BD1_7 ＊年代

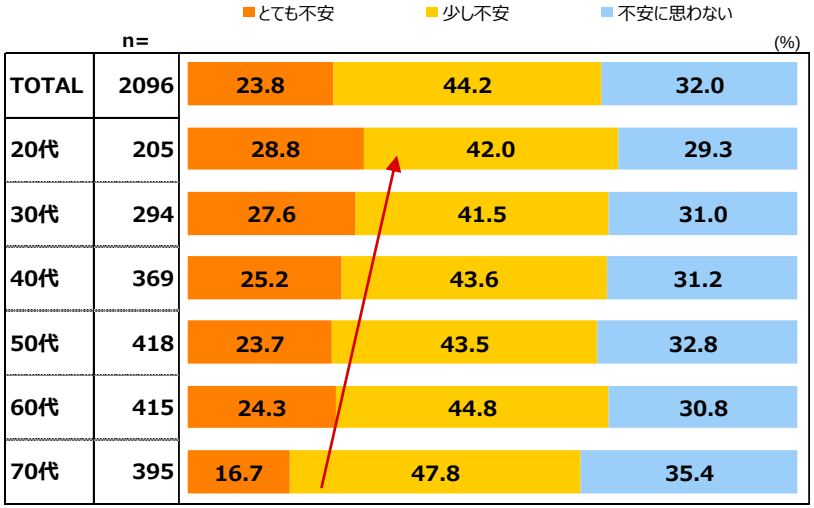
※ＴＯＴＡＬで降順ソート



	n=	ニュースサイト	ペットフードメーカーのホームページ	獣医師会のサイト	政府系のサイト（環境省、厚労省、農林水産省のサイト）	SNS※	地方自治体のサイト	オンラインショッピングサイト	ブログ	その他	インターネットでは検索していない
TOTAL	1117	38.7	25.1	22.1	17.0	16.2	11.8	8.6	7.8	1.8	20.2
20代	123	35.0	27.6	19.5	21.1	24.4	15.4	10.6	8.9	0.8	8.1
30代	186	41.9	21.5	23.1	24.2	25.3	14.0	7.0	10.2	0.5	16.7
40代	226	39.8	23.9	22.6	18.6	18.1	10.6	10.2	8.0	2.2	20.8
50代	211	39.8	24.6	17.5	10.4	13.3	9.5	5.2	8.5	2.8	22.7
60代	199	43.7	29.1	24.6	16.1	9.5	10.1	10.1	4.5	2.0	19.6
70代	172	29.1	24.4	25.0	13.4	9.3	13.4	9.3	7.0	1.7	29.7

※SNS（Facebook、Instagram、Twitter、LINE等）

Q44【コロナ後】コロナに感染した場合の、ペットの世話に関する不安
BD1_7 ＊年代



Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

コロナ後に行った、ペットに関する情報検索

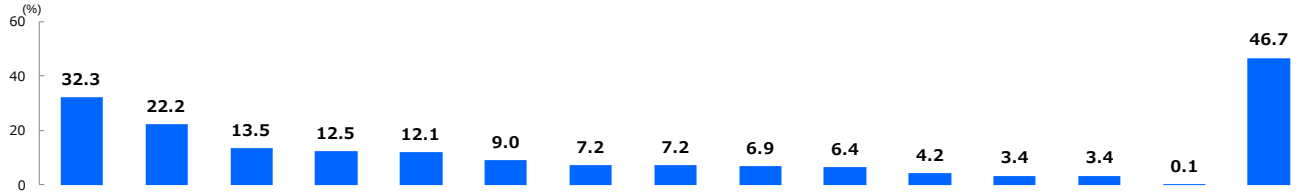
調査② Q42(1)(2)

集計ベース：現在犬または猫飼育者
単位：%

・コロナ後に調べたものは「感染について」が上位。今後知りたいと思うものは、感染についてだけでなく、普段の暮らしや予防、感染後の対応が上位に。ペットフードについては特に高くない。

Q42(1)【コロナ後】ペットに関する情報検索（MA):新型コロナウイルスの流行後、ペットに対する情報として調べたもの
BD1_7 ＊年代

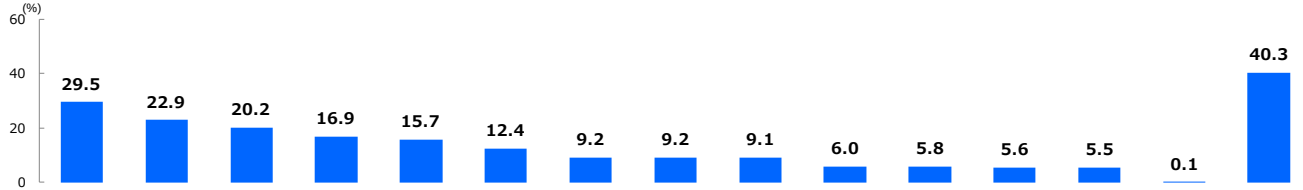
※ＴＯＴＡＬで降順ソート



	n=	新型コロナウイルスの人間からペットへの感染	新型コロナウイルスのペットから人間への感染	コロナ禍での動物病院利用方法	コロナ禍でのペットを飼育する上での日常的な感染予防	飼い主感染時の対応(ペットの預かり場所等)	ペットの免疫力強化	コロナ禍でのペットの散歩や運動に関する感染予防	ペットフードの衛生面での安全性	コロナ禍でのトリミングサロン利用方法	ペットフードと新型コロナウイルス感染予防の関係性	コロナ禍でのペットフード供給状況	コロナ禍でのペット保険に関する情報	コロナ禍でのペットフードの選び方	その他	特にない
TOTAL	2096	32.3	22.2	13.5	12.5	12.1	9.0	7.2	7.2	6.9	6.4	4.2	3.4	3.4	0.1	46.7
20代	205	26.3	21.5	12.2	13.7	12.2	9.8	4.9	6.8	11.2	10.7	4.4	2.4	7.8	0.0	40.0
30代	294	39.5	25.2	16.0	12.9	12.9	9.9	7.5	7.1	11.2	8.5	5.8	4.8	5.8	0.0	36.7
40代	369	38.5	24.7	14.9	12.7	13.6	11.1	6.8	6.5	8.4	4.9	7.0	5.4	4.1	0.5	38.8
50代	418	32.5	20.3	12.2	10.8	10.0	11.0	6.7	7.2	5.3	3.3	3.1	3.1	2.2	0.0	49.5
60代	415	31.1	22.4	14.7	13.7	13.5	6.3	8.0	5.8	5.5	5.3	3.4	3.1	0.7	0.0	52.0
70代	395	25.3	19.7	11.4	11.9	10.6	6.6	8.4	9.6	3.3	8.4	2.0	1.5	2.8	0.3	56.5

Q42(2)【コロナ後】ペットに関する情報検索（MA):ペットに対する情報として、今後知りたいと思うもの
BD1_7 ＊年代

※ＴＯＴＡＬで降順ソート



	n=	新型コロナウイルスの人間からペットへの感染	新型コロナウイルスのペットから人間への感染	ペットの免疫力強化	飼い主感染時の対応(ペットの預かり場所等)	コロナ禍でのペットを飼育する上での日常的な感染予防	コロナ禍での動物病院利用方法	ペットフードの衛生面での安全性	ペットフードと新型コロナウイルス感染予防の関係性	コロナ禍でのペットの散歩や運動に関する感染予防	コロナ禍でのペット保険に関する情報	コロナ禍でのペットフード供給状況	コロナ禍でのトリミングサロン利用方法	コロナ禍でのペットフードの選び方	その他	特にない
TOTAL	2096	29.5	22.9	20.2	16.9	15.7	12.4	9.2	9.2	9.1	6.0	5.8	5.6	5.5	0.1	40.3
20代	205	25.4	20.5	22.0	14.6	15.6	11.7	10.7	12.7	9.3	8.8	9.8	7.3	9.3	0.5	36.1
30代	294	35.4	23.5	22.4	19.4	18.0	15.6	12.6	9.9	10.5	9.2	5.8	9.5	6.8	0.0	34.0
40代	369	31.7	23.3	20.1	20.6	14.9	14.9	10.0	9.8	10.0	7.0	7.3	7.9	8.1	0.0	34.7
50代	418	34.0	23.7	22.7	15.8	14.1	13.9	8.6	5.3	6.0	6.9	5.5	3.8	3.3	0.2	41.1
60代	415	26.0	21.4	19.5	15.4	18.1	10.1	8.0	9.6	12.0	5.3	4.8	4.3	4.8	0.2	43.9
70代	395	24.1	24.1	15.9	15.7	13.9	8.6	7.1	9.9	7.3	0.8	3.8	2.8	3.3	0.0	47.8

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

非飼育者のペット飼育意向きっかけの変化

調査③　Q4(1)

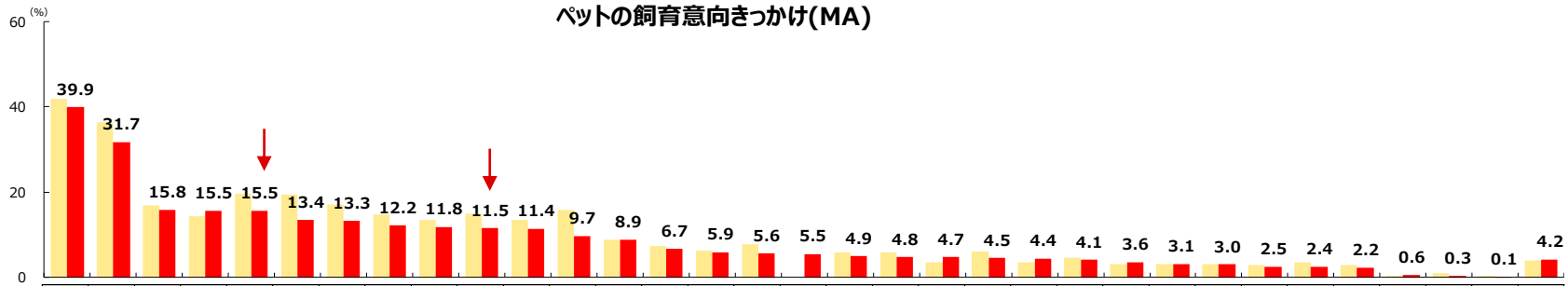
集計ベース：
現在犬飼育なし＆
今後犬飼育意向あり
単位：%

・非飼育者のペット飼育意向のきっかけにおいて、コロナに関連すると思われる理由項目での増加は見られず。

犬

※20年で降順ソート

ペットの飼育意向きっかけ(MA)



	n=	生活に癒し・安らぎが欲しかったから	過去に飼育経験があり、また飼いたくなったから	周りの人が飼っているのを見て羨ましいと思ったから	生活を充実させたいから	ストレス解消、気分転換、リフレッシュしたいから	以前飼っていたペットが亡くなったから	ペットショップで見て欲しくなったから	愛情をかけて世話をする対象が欲しかったから	年齢的に飼い始める最後のチャンスだから	話し相手や遊び相手として欲しかったから	家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから	運動不足を解消したいから	ペットを飼っている家庭にあこがれていたから	テレビ、雑誌、インターネット等で見て気に入ったから	子供に世話をさせたいと考えたから	毎日ペットの世話をできる状況になったから	家族のうちの誰かが家にいる時間が増えたから	子供・孫にせがまれたから	子供に手がかからなくなったから	経済的に余裕ができたから	一軒家に引っ越したから	ひとり暮らしでさみしかったから	ペットを飼うにふさわしい環境（広さ・間取り・庭や住宅環境）の住宅に引っ越したから	子供が世話できる年齢になったから	ペットを拾った、迷い込んできたことがあったから	ペット不可でない住宅に引っ越したから	子供が一人の為、話し相手や遊び相手として欲しかったから	子供が独立したから	友人／知人などから飼育を頼まれたことがあったから	子供・孫以外の家族にせがまれたから	ペットアレルギーの症状がある家族と別居することになったから	ペット飼育に反対する家族と別居することになったから	その他
18年	935	41.8	36.4	16.8	14.4	19.7	19.4	17.0	14.7	13.5	15.0	13.5	15.9	8.9	7.3	6.3	7.7	-	5.9	5.8	3.6	6.1	3.5	4.6	3.1	3.1	3.0	2.9	3.5	2.9	0.4	0.9	0.4	3.9
20年	1029	39.9	31.7	15.8	15.5	15.5	13.4	13.3	12.2	11.8	11.5	11.4	9.7	8.9	6.7	5.9	5.6	5.5	4.9	4.8	4.7	4.5	4.4	4.1	3.6	3.1	3.0	2.5	2.4	2.2	0.6	0.3	0.1	4.2

※選択肢「家族のうちの誰かが家にいる時間が増えたから」は20年より聴取。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が18年に対し有意に高い/低い：■

非飼育者のペット飼育意向の変化

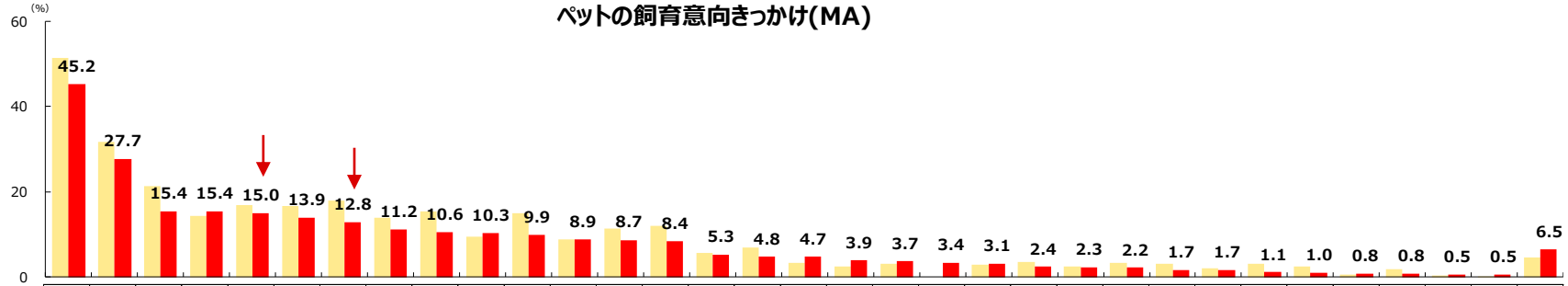
調査③　Q4(2)

集計ベース：
現在猫飼育なし＆
今後猫飼育意向あり
単位：%

・非飼育者のペット飼育意向のきっかけにおいて、コロナに関連すると思われる理由項目での増加は見られず。

猫

※20年で降順ソート



	n=	生活に癒し・安らぎが欲しかったから	過去に飼育経験があり、また飼いたくなったから	周りの人が飼っているのを見て羨ましいと思ったから	生活を充実させたいから	話し相手や遊び相手として欲しかったから	愛情をかけて世話をする対象が欲しかったから	ストレス解消、気分転換、リフレッシュしたいから	テレビ、雑誌、インターネット等で見て気に入ったから	以前飼っていたペットが亡くなったから	ペットを拾った、迷い込んできたことがあったから	ペットショップで見て欲しくなったから	ペットを飼っている家庭にあこがれていたから	年齢的に飼い始める最後のチャンスだから	家族や夫婦間のコミュニケーションに役立つと思ったから	ひとり暮らしでさみしかったから	毎日ペットの世話をできる状況になったから	一軒家に引っ越したから	ペット不可でない住宅に引っ越したから	子供に世話をさせたいと考えたから	家族のうちの誰かが家にいる時間が増えたから	経済的に余裕ができたから	友人／知人などから飼育を頼まれたことがあったから	子供に手がかからなくなったから	ペットを飼うにふさわしい環境（広さ・間取り・庭や住宅環境）の住宅に引っ越したから	子供・孫にせがまれたから	子供が世話できる年齢になったから	子供が独立したから	運動不足を解消したいから	ペットアレルギーの症状がある家族と別居することになったから	子供が一人の為、話し相手や遊び相手として欲しかったから	ペット飼育に反対する家族と別居することになったから	子供・孫以外の家族にせがまれたから	その他
18年	700	51.4	31.6	21.4	14.4	16.9	16.6	18.0	13.9	15.4	9.4	14.9	8.9	11.3	12.0	5.6	6.9	3.4	2.4	3.0	-	2.9	3.6	2.4	3.4	3.0	2.0	3.1	2.4	0.6	1.9	0.4	0.1	4.6
20年	786	45.2	27.7	15.4	15.4	15.0	13.9	12.8	11.2	10.6	10.3	9.9	8.9	8.7	8.4	5.3	4.8	4.7	3.9	3.7	3.4	3.1	2.4	2.3	2.2	1.7	1.7	1.1	1.0	0.8	0.8	0.5	0.5	6.5

※選択肢「家族のうちの誰かが家にいる時間が増えたから」は20年より聴取。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が18年に対し有意に高い/低い：■

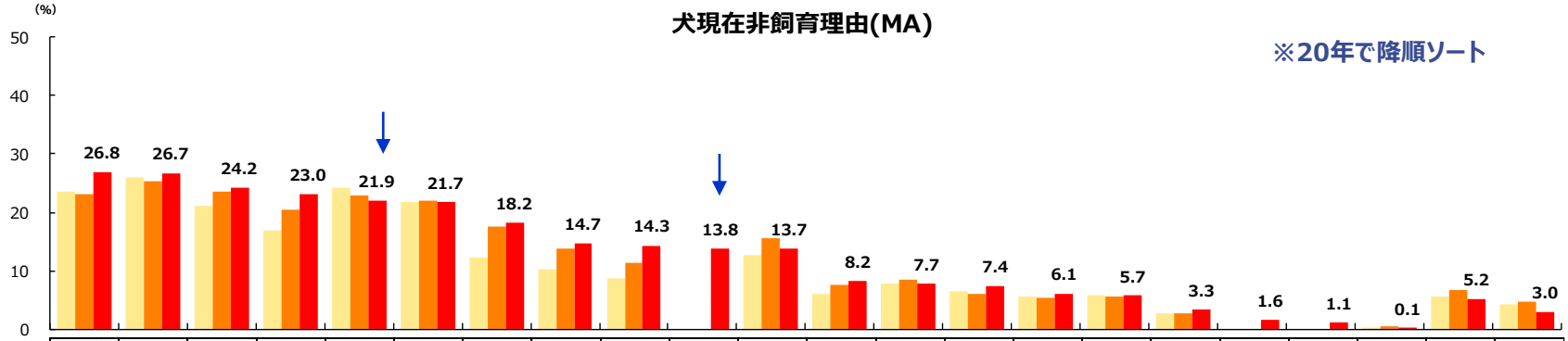
ペット飼育の阻害要因の変化

調査③　Q3(1)

集計ベース：
現在犬飼育なし＆
今後犬飼育意向あり
単位：%

・非飼育理由は、19年から変わらない。20年はペットの販売価格が高騰したが、初期投資よりもランニングコストの方が阻害要因としては大きい。

犬



	n=	集合住宅（アパート・マンションなど一戸建てでないもの）に住んでいて、禁止されているから	旅行など長期の外出がしづらくなるから	別れがつらいから	十分に世話ができないから	世話をするのにお金がかかるから	死ぬとかわいそうだから	最後まで世話をする自信がないから	以前飼っていたペットを亡くしたショックがまだ、癒えていないから	散歩をするのが大変そうだから	（ペットの）価格が高いから	日中ペットだけで留守番をさせるのはかわいそうだから	家や庭が狭いから	子供の世話で手一杯だから	しつけをする自信がないから	ご近所に迷惑がかかりそうだから	飼ったことが無いのでわからないから	アレルギーの家族がいるから	ペットを販売または譲渡する場所に行く機会がなかったから	欲しいペットが見つからなかったから	シェルターで入手を検討したが、断られたから	その他	あてはまるものはない
18年	935	23.5	25.9	21.2	16.9	24.3	21.8	12.3	10.2	8.6	0.0	12.7	6.0	7.7	6.4	5.5	5.8	2.6	0.0	0.0	0.2	5.6	4.3
19年	954	23.0	25.4	23.6	20.4	22.9	21.9	17.6	13.9	11.4	0.0	15.6	7.5	8.5	6.1	5.3	5.5	2.8	0.0	0.0	0.5	6.6	4.8
20年	1029	26.8	26.7	24.2	23.0	21.9	21.7	18.2	14.7	14.3	13.8	13.7	8.2	7.7	7.4	6.1	5.7	3.3	1.6	1.1	0.1	5.2	3.0

※選択肢「（ペットの）価格が高いから」「ペットを販売または譲渡する場所に行く機会がなかったから」「欲しいペットが見つからなかったから」は20年より聴取。
※「世話をするのにお金がかかるから」は、19年以前は「お金がかかるから」で聴取。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■

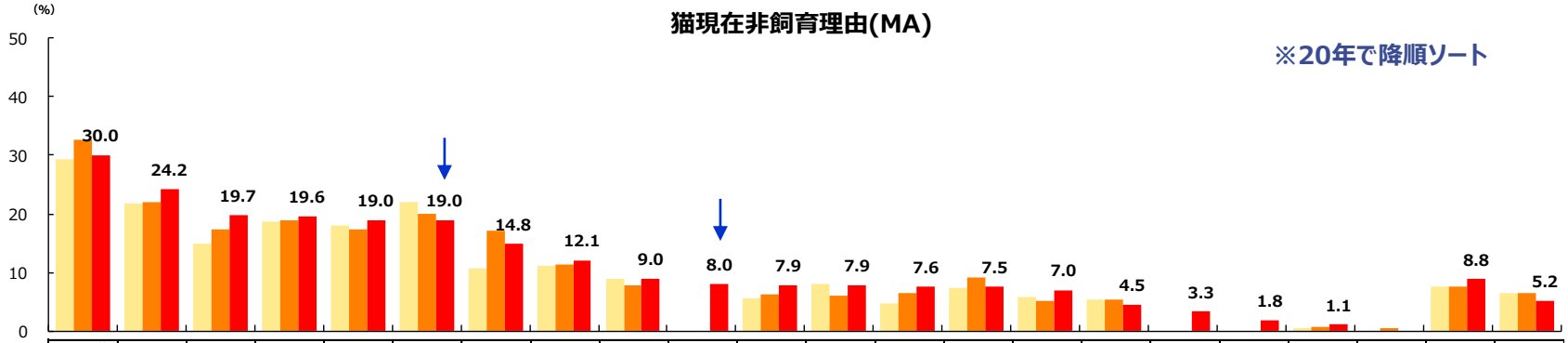
ペット飼育の阻害要因の変化

調査③　Q3(3)

集計ベース：
現在猫飼育なし＆
今後猫飼育意向あり
単位：%

・非飼育理由は、19年から変わらない。20年はペットの販売価格が高騰したが、初期投資よりもランニングコストの方が阻害要因としては大きい。

猫



	n=	集合住宅（アパート・マンションなど一戸建てでないもの）に住んでいて、禁止されているから	旅行など長期の外出がしづらくなるから	十分に世話ができないから	別れがつらいから	死ぬとかわいそうだから	世話をするのにお金がかかるから	最後まで世話をする自信がないから	日中ペットだけで留守番をさせるのはかわいそうだから	飼ったことが無いので大変さがわからないから	（ペットの）価格が高いから	家や庭が狭いから	しつけをする自信がないから	アレルギーの家族がいるから	以前飼っていたペットを亡くしたショックがまだ、癒えていないから	ご近所に迷惑がかかりそうだから	子供の世話で手一杯だから	ペットを販売または譲渡する場所に行く機会がなかったから	欲しいペットが見つからなかったから	散歩をするのが大変そうだから	シェルターで入手を検討したが、断られたから	その他	あてはまるものはない
18年	700	29.4	21.7	14.9	18.6	18.1	21.9	10.6	11.1	8.9	0.0	5.6	8.1	4.7	7.4	5.7	5.4	0.0	0.0	0.4	0.0	7.6	6.4
19年	706	32.7	22.1	17.4	18.8	17.4	20.0	17.1	11.3	7.9	0.0	6.2	6.1	6.5	9.2	5.2	5.4	0.0	0.0	0.8	0.4	7.5	6.4
20年	786	30.0	24.2	19.7	19.6	19.0	19.0	14.8	12.1	9.0	8.0	7.9	7.9	7.6	7.5	7.0	4.5	3.3	1.8	1.1	0.0	8.8	5.2

※選択肢「（ペットの）価格が高いから」「ペットを販売または譲渡する場所に行く機会がなかったから」「欲しいペットが見つからなかったから」は20年より聴取。
※「世話をするのにお金がかかるから」は、19年以前は「お金がかかるから」で聴取。

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：■

予防接種の変化

調査② Q18(1)～(4)

集計ベース：
現在犬飼育者
単位：%

・予防接種率は、いずれも19年から変わらない。

現在飼育している犬の1年以内予防注射有無: 狂犬病

	n=	はい	いいえ	わからない
16年	1014	80.1	16.4	3.6
17年	1039	83.4	13.5	3.1
18年	1093	82.3	14.6	3.0
19年	1077	84.4	12.4	3.2
20年	1127	86.2	11.4	2.4

現在飼育している犬の1年以内予防注射有無: 混合ワクチン

	n=	はい	いいえ	わからない
16年	1014	68.5	26.0	5.4
17年	1039	69.1	25.8	5.1
18年	1093	69.9	24.1	6.0
19年	1077	72.4	21.7	5.8
20年	1127	72.0	23.2	4.7

現在飼育している犬の1年以内予防注射有無: フィラリア

	n=	はい	いいえ	わからない
16年	1014	73.6	22.5	3.9
17年	1039	72.3	23.8	3.9
18年	1093	72.6	22.6	4.8
19年	1077	74.5	21.1	4.5
20年	1127	74.8	21.8	3.4

現在飼育している犬の1年以内予防注射有無: ノミ･ダニ予防

	n=	はい	いいえ	わからない
16年	1014	49.3	45.2	5.5
17年	1039	51.7	42.8	5.5
18年	1093	53.7	40.3	6.0
19年	1077	56.7	37.5	5.8
20年	1127	57.9	37.1	5.1

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5%　20年の値が19年に対し有意に高い/低い：青で丸付け
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：黄色で丸付け

不妊・去勢手術や病院へ行った回数の変化

調査② TQ19(1)(2) SQ21(1)(2)

集計ベース：
現在犬または猫飼育者※外猫除く
単位：%

・不妊・去勢手術率、病院に行く回数は、いずれも19年から変わらない。

犬

不妊・去勢手術の有無

■不妊・去勢の手術を受けている ■わからない ■手術を受けていない

	n=	不妊・去勢の手術を受けている	わからない	手術を受けていない
16年	1014	50.2	2.5	47.3
17年	1039	49.6	2.8	47.6
18年	1093	54.0	3.4	42.6
19年	1077	50.1	5.4	44.5
20年	1127	53.7	3.6	42.7

猫

不妊・去勢手術の有無

■不妊・去勢の手術を受けている ■わからない ■手術を受けていない

	n=	不妊・去勢の手術を受けている	わからない	手術を受けていない
16年	712	82.0	3.4	14.6
17年	720	80.3	2.4	17.4
18年	779	77.2	4.5	18.4
19年	757	81.2	5.2	13.6
20年	858	78.4	4.5	17.0

犬

最近1年間動物病院へ行った回数

■～1回 ■2～3回 ■4～6回 ■7～10回 ■11回以上

	n=	～1回	2～3回	4～6回	7～10回	11回以上	平均値（回）
16年	1014	33.6	28.9	19.9	7.4	10.2	4.49
17年	1039	35.5	30.4	18.2	7.4	8.5	4.08
18年	1093	32.9	30.0	18.8	9.1	9.1	4.36
19年	1077	33.9	29.5	19.3	8.0	9.3	4.08
20年	1127	31.2	30.7	18.5	8.3	11.4	4.51

猫

最近1年間動物病院へ行った回数

■～1回 ■2～3回 ■4～6回 ■7～10回 ■11回以上

	n=	～1回	2～3回	4～6回	7～10回	11回以上	平均値（回）
16年	712	64.2	21.2	7.6	3.7	3.4	2.15
17年	720	64.9	19.7	7.9	3.5	4.0	2.25
18年	779	65.1	20.2	8.3	3.5	3.0	2.37
19年	757	60.2	21.9	9.2	4.8	3.8	2.33
20年	858	60.6	22.0	11.0	3.5	2.9	2.21

Copyright© INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【比率の差の検定】有意水準5% 20年の値が19年に対し有意に高い/低い：青で丸付け
20年の値が16年に対し有意に高い/低い：黄色で丸付け